

産業班の発表

阿部瑛太 木村祥吾 安田華 吉田太陽





福島町は森を活かした木の
ブランド化を行うと良いと考えました

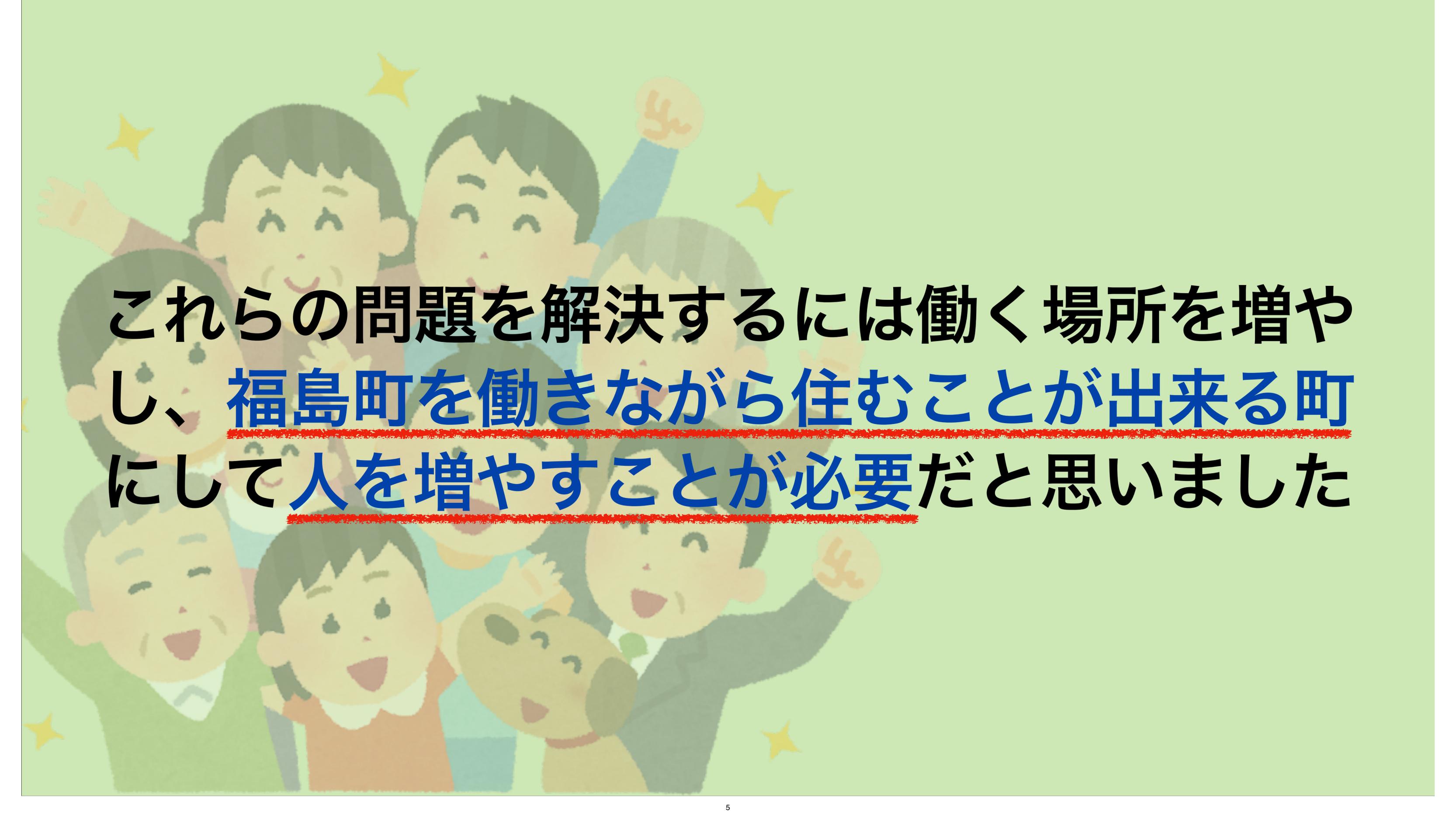


10年後には人が多く賑やかな町
であってほしいと思っています



An illustration on a light green background. At the top, a family of five is shown: a young boy, a man, a woman, and two older adults. They are all smiling and looking towards the center. Below them, a horizontal green line separates them from a man and a woman below. The man and woman below the line have angry, stressed expressions, with furrowed brows and sweat drops on their faces. The overall scene suggests a contrast between a happy family and a stressed couple, likely representing the challenges of an aging population and declining birth rates.

しかし、今の福島町には少子高齢化や人口減少という課題があると思います



これらの問題を解決するには働く場所を増やし、福島町を働きながら住むことが出来る町にして人を増やすことが必要だと思いました



そこで、森を生かした木のブランド化を
すれば、福島町の魅力を他の町の人にも
伝えることができると思ったからです





具体的には、はじめに福島町独自のブランドを展開して、ブランド製品を作るための働く場所を増やしたいです。



～ブランドとは？具体的に～

生活用品や家具作りをメインとした木製の商品やインテリアにも使えるオシャレで若者向けの商品などを低価格高品質で提供したい

福島のブランドらしくスルメやすもうなどのデザインもありかも…



～ブランド化政策で期待できる効果～

森を活かした産業による 林業の活性化



～ブランド化政策で期待できる効果～

ブランド製品を作るための工場や商品
を売る店舗を作るなどで働く場所を増やす



～ブランド化政策で期待できる効果～

地域ブランドとしてPRして、福島
町の知名度を上げるきっかけを作る



～ブランド化政策で期待できる効果～

ブランド製品を**売買**することで**経済を回す**



予算は農林水産業費である**2億4325万円** の内から投資して欲しいと考えています

農林水産業費

2億4,325万3千円

=農業・林業の振興や治山・林道事業の費用として=

◇農業委員会費に	179万9千円
◇農林業担い手養成事業費等に	1,187万5千円
◇有害鳥獣処理施設管理運営費に	942万4千円
◇活性化センターの管理運営費等に	127万6千円
◇林業振興用機械等整備補助金などの林業振興費に	2,451万0千円
◇町有林造成事業に	1,496万8千円
◇熊等による被害対策費に	712万9千円
◇森林公園管理費に	235万3千円

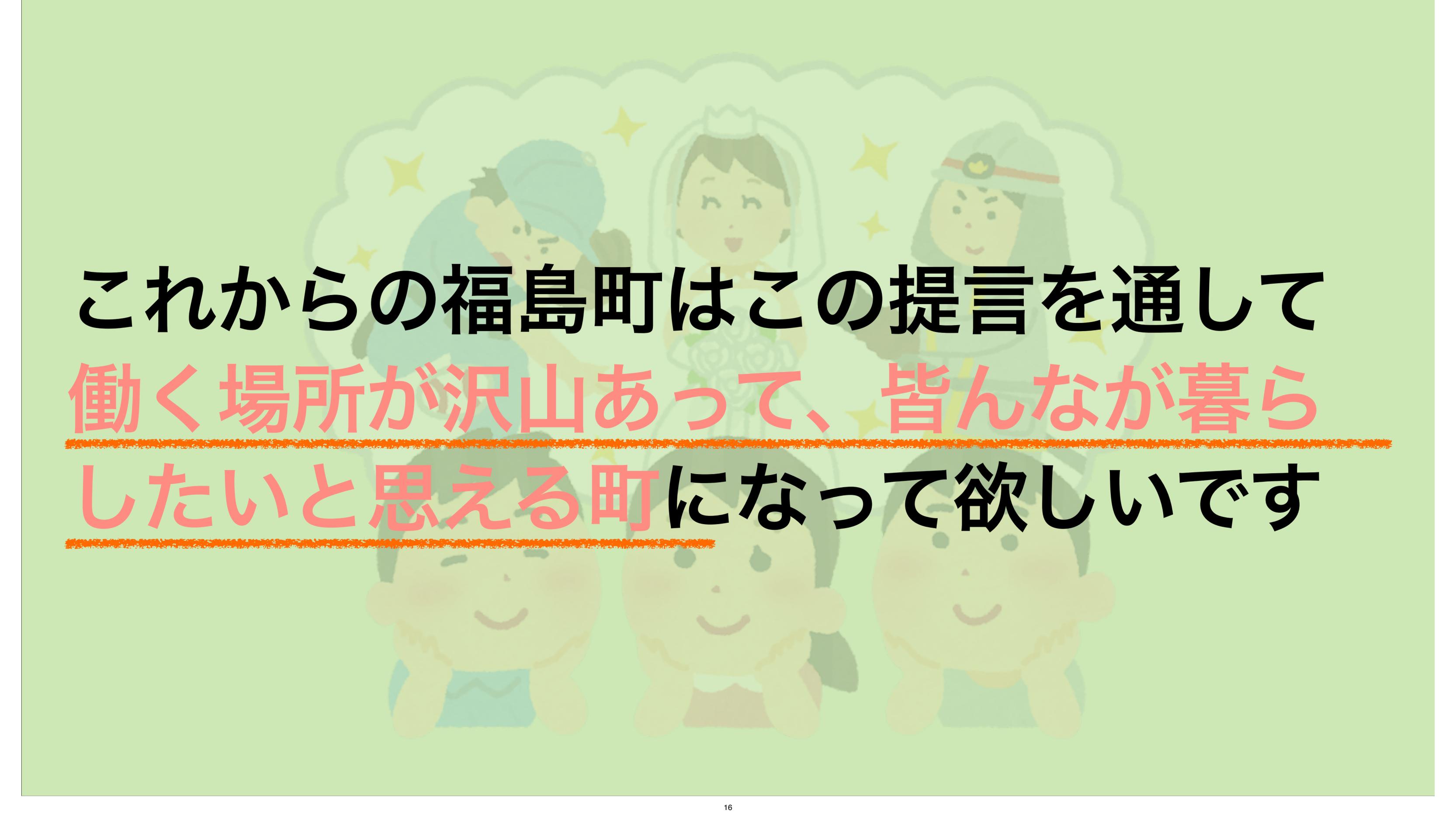


このアイデアを役場の方々中心に
行って欲しいです。



以上の理由で、私たちは
福島町は森を活かした木の
ブランド化を行うと良いと考えました。





これからの福島町はこの提言を通して
働く場所が沢山あって、皆んなが暮ら
したいと思える町になって欲しいです